

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成28年9月30日(金曜日)
午前9時28分～午前10時18分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 猶 野 智 和 委 員 長 末 永 義 美 副 委 員 長
竹 岡 昌 治 委 員 徳 並 伍 朗 委 員
秋 山 哲 朗 委 員 安 富 法 明 委 員
岩 本 明 央 委 員 山 中 佳 子 委 員
三 好 睦 子 委 員 高 木 法 生 委 員
岡 山 隆 委 員 秋 枝 秀 稔 委 員
戎 屋 昭 彦 委 員 杉 山 武 志 委 員
荒 山 光 広 議 長
4. 欠席委員 な し
5. 出席した事務局職員
綿 谷 敦 朗 議 会 事 務 局 長 野 尻 登 志 枝 議 会 事 務 局 係 長
大 塚 享 議 会 事 務 局 係 長
6. 説明のため出席した者の職氏名
西 岡 晃 市 長 篠 田 洋 司 副 市 長
岡 崎 堅 次 教 育 長 石 田 淳 司 市 長 公 室 長
田 辺 剛 総 務 部 長 大 野 義 昭 総 務 部 次 長
細 田 清 治 総 務 部 次 長 藤 澤 和 昭 総 合 政 策 部 長
三 浦 洋 介 市 民 福 祉 部 長 西 田 良 平 建 設 経 済 部 長
奥 田 源 良 総 合 観 光 部 長 倉 重 郁 二 美 東 総 合 支 所 長
佐 々 木 彰 宣 秋 芳 総 合 支 所 長 杉 原 功 一 会 計 管 理 者
松 永 潤 消 防 長 金 子 彰 教 育 委 員 会 事 務 局 長
末 岡 竜 夫 教 育 委 員 会 事 務 局 次 長 小 田 正 幸 監 査 委 員 会 事 務 局 長
末 藤 克 己 農 業 委 員 会 事 務 局 長 竹 内 正 夫 財 政 課 長
山 本 幸 宏 収 納 対 策 課 長
7. 会議の次第は次のとおりである。

午前9時28分開会

○委員長（猶野智和君） おはようございます。ただいまより、昨日に引き続き予算決算委員会を開会いたします。それでは、これより審査を始めます。総括質疑の前に、昨日資料請求のありました件につきまして執行部より資料の説明があります。

竹内財政課長。

○財政課長（竹内正夫君） ここで委員長のお許しをいただきましたので、本日配付しております資料について、御説明をさせていただきます。

平成27年度末市債未償還額に対する交付税（基準財政需要額算入見込）の資料を手元に御用意いただきます。

これは、きのう安富委員から資料提供の依頼のありました市債の未償還額に対する普通交付税の算入、基準財政需要額の算入額の見込みをお示ししているものでございます。

決算資料のとおり、普通債、災害復旧債、その他の区分に分け、平成27年度末におけるそれぞれの未償還元金、元利償還金、それに対しての普通交付税の基準財政需要額の算入見込額を表しております。

なお、各区分において主な起債名と括弧内には交付税の算入率を示しております。普通債につきましては算入率43.1%、災害復旧債については82.6%、その他につきましては92.1%となっております。市債全体では64.6%が交付税算入、基準財政需要額にですが、算入されていることとなります。

説明のほうは以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 済みません。本来なら私は質疑ができないんですが……たきょう監査委員事務局長、来ちよるかな。私ども監査に示していただいたのは130億台だったと思うのですが、数字がちょっと違う。こっちのほう正しい。監査出されたほうが、聞いたほうがちがう。局長違うでしょ。私の車にはあるんじゃけども。

130億って頭で覚えちよったんじゃけど、ちょっと確認してみたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 竹内財政課長。

○財政課長（竹内正夫君） ただいまの竹岡委員の御質問に対して回答したいと思いますが、監査の時に提出いたしました資料につきましては、一部下水道事業に対する未済の償還金が入っておりましたのでこちらのほうが正しい数字となっておりますの

で、回答させていただきます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。それでは、西岡市長が出席されましたので、これより議案第85号平成27年度美祢市一般会計決算の認定についての総括的な質疑を行います。質疑はございませんか。岩本委員。

○委員（岩本明央君） 西岡市長が出席されておりますので、申し上げます。平成27年度の決算報告書の59ページをお願いいたしますと思います。

商工費の5目道の駅連携推進事業に関することです。これは、その2の中で道の駅連携推進事業。県内各道の駅設置者、管理運営者、全国及び中国道の駅連絡会と連携することにより、道の駅の機能向上を図りました。

ということで、34万3,000円ほど執行されております。大変良いことだと思っております。

西岡市長。今全国に道の駅が1,093カ所あるそうです。山口県内には23カ所ほどありますが、実はこの23カ所の中に日本一が2つあります。为什么呢。

一つは日本で最初につくられた道の駅であります。それは、道の駅阿武町であります。これは、昨年27年にリニューアルされました。特にユニークなのは、資材、材料等が山口県産の木材を使用しておられまして——大変きれいに管理をされています。日本海を望み、夕方、夕日が日本海に沈む時に太陽が鐘とハートの間にマッチングした時に鐘を鳴らすと、幸せになる。若いアベックに大変人気があるそうです。

私は、リニューアル後に現地を2回、行きました。1つは林業振興会の建材のあれを使うということで行ったんですが、その後、プライベートで行きました。駐車場は大変広いし、温水プールも隣接されております。特に海産物や山の幸も新鮮で安く、職員さんの接遇も大変よいし、店の内外は大変きれいに管理されていました。

2つ目は行ってよかった道の駅ランキング1位。これです。これは9月14日の山口新聞に、このニュースが載っておりました。私も大変参考になると思いまして行ってみたわけですが北浦海道豊北が輝きました。この山口新聞にも報道されておりますし、私も今申し上げたように、9月21日の日に見学研修にいつてまいりました。建築5年が経過していますが、大変きれいで外に出れば、西長門リゾートホテル、それからその向こうには角島大橋が大変美しく、それをバックに写真を撮るようにもできております。

この2つの道の駅に共通することは、両方とも後ろに海があり漁港になっておるといことが共通点だと思いますが、その記念写真も撮れましたので私も撮って帰りました。この美祢市の近くに全国道の駅1位が2カ所ほどあるわけでございます。この美祢市から両方とも50分くらいで行くことができると思いますが、私が市長さんに大変失礼とは思いますが、ぜひ職員さんともこの2カ所の先進地研修視察をされまして、美祢市の道の駅発展のために、参考にされては如何でしょうか。提言をさせていただきます。市長さんの御意見でもあれば、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 岩本委員の御質問といたしますか、御提言いただきましてありがとうございました。私もこの両2カ所の道の駅、プライベートでございますけれども何度か行かさせていただいております。まあ特に、行ってみたい道の駅1位ということで下関の北浦海道豊北ですか——には、何度か足を運ばさせていただいてこういった道の駅のスタイルもいいなあというふうに思いながら、私も買物をさせていただきました。

特にさきほど岩本委員が言われました、海産物等が大変人気があるようですね、かなりお客さんが来られているなあというふうに実感したところであります。

今御提言いただきましたこの両道の駅につきましてもまたほかの全国、またこの中国地方におきましても道の駅の連絡協議会等ございまして、職員並びにいま道の駅於福を管理しております美祢観光開発株式会社のスタッフにもですね、それぞれのよいところを研修させてこの美祢市の道の駅も発展できるように努力させたいというふうに思っておりますのでよろしく願いたいと思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 他に質疑はございませんか。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） 西岡市長が出席していらっしゃるんで、ちょっと全般的なことでお聞きしたいと思います。

まず、27年度の主要施策成果報告書、これは私も昨日審議させていただきました、これは当然26年から27年度にかけて予算を作成され、それを昨年度執行されたというふうに思っております。その時、西岡市長は当時議員として26年から27年度に予算編成に賛成されたかと思っております。

で、何がお聞きしたいかと言いますと、この予算対執行、これの費用対効果につい

て、昨年度これは執行されたわけですがけれども、このあたり西岡市長は当時議員として賛成された立場と、今は市長としてこれを、今そこに座っていらっしゃるのです。その予算対執行に対する西岡市長の新しい市政に対しての考えた中でこの予算執行がどのようなことで執行されたか、西岡市長はどのようにお考えになっていらっしゃるか、わかりましたらお尋ねしたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 戎屋委員の御質問にお答えしたいとおもいます。御指摘いただいた通り、26年から27年にかけて、27年の3月ですか。予算を、当初予算を提出されて、それに私も議員の一人として、参加をさせていただいて賛成の議決をしたところでございます。

また、執行にあたっては27年執行ということで私自身が直接執行したということではございませんけれども、今御提出いたしました成果報告書のとおり、執行してきたということになっております。

また、この執行した内容、またあの基金等ですね。いろいろ積立もしてきておりますし、それには監査委員の御意見——意見書も付していただいておりますので、監査委員さんの意見をこれから参考にいたしまして、この決算書の執行状況を見て、来年度予算に反映していければというふうに思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいでしょうか。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） 御回答ありがとうございます。私がちょっとお聞きしたかったのは、内容について、西岡議員として、今市長としてその内容がですね、自分の新しい今市長になられた時のお考えとしてどのように感じられたかということがお聞きしたかったことが一点とですね、そして今お話しされたように来年度の予算執行に対して、それを参考にして編成していきたいということをお聞きしておりますので、結果についての市長としての御意見がございましたらお聞きしたいと思いましたが済みません。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 決算につきましては、適正に執行され、また予算内にしっかりと成果の上がるような執行がされているというふうに思っております。また、さきほど申されましたとおり、この決算を私の中でもう一度確認しながら、皆さんの御意見

も伺いながら、次期の予算に反映——もう少し事業を見直すところは見直す、また、継続していくところは継続していくというふうに判断をして次期予算を組んでいきたいというふうに思っております。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君） お尋ねいたします。市税や国保税、介護保険、住宅使用料と歳入について収入未済額が多く、また不納欠損も多いように思いました。介護保険や後期高齢の保険料というのは少ない年金から天引きされたり、またその天引きされた後の残った年金で暮らしていくのは、ほんとに大変かと思えます。食べるのも節約して、友人の葬儀にも行けないほど、厳しい生活を強いられています。国保にしても市税、またその他の公共料金にしてもやりくりをして支払をしているという状況です。

こうした状況、この現状、市長さんはどのように思われ、今後どのように対応されていかれるのでしょうか。お尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 三好委員の御質問にお答えしたいと思えますけども、国保税と介護保険料等がですね、高くてなかなか生活が苦しいと。年金だけでは生活が苦しいという御指摘だと思っております。確かにそういう御意見も多く寄せられていることは事実でございます。

しかしながら、国民保健にしても介護保険にしても、維持をしていかなければ、この制度を崩して市民生活を守ることができるのかと言われるとなかなかそういうわけにはいきませんので、しっかり守っていくと。

しかしながら、保険料とか保険税の上昇をですね、なるべく抑えられるような施策をとっていければというふうに思っておりますが、この2つの料金につきましては、適正に管理されているものだというふうに思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいでしょうか。三好委員。

○委員（三好睦子君） 市長さんも全国市長会に出られると思えますので、その時には地方のほうに、いま国支出金とかいろんな制度、増えるように要望お願いいたします。きのうもありましたけど、農家の鳥獣被害防止対策ですけど、国が出す100%があるんですが、この費用もふやしてもらえるように強く要望していただきますようお願いいたします。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。安富委員。

○委員（安富法明君） 一点だけ、お聞きをします。27年度の決算審査ということで今日は市長が総括質疑ということで出席をされております。いろいろそれぞれの議員さんからたくさん意見が出ました。ですが、基本的にですね、27年度の決算ということになりますと西岡市長がやられたわけでは当然ありません。そこで、この決算についてどのような新市長として評価をされているかということをお聞きしたいわけですが、合併以来私何度か申し上げたかもしれませんが、当時の大きな課題でありました財政の健全化ということで今回示されました財政健全化の判断基準。こういうものが充分でないまでもそれぞれ評価ができる値になってきたというふうに思っております。そういうことでこの審査結果ですか、決算について西岡市長としてのどのような評価をされているのか、まずお聞きをしたい。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 安富委員の御質問にお答えしたいと思います。

先ほど、戎屋委員の御質問と重なる部分もあろうと思っておりますけれども、決算につきましては、適正に処理され、監査委員さんからの御意見を付してお示しいたしましたとおり、健全な財政運営をされているというふうに思っております。

今後にいたしましても、この決算に倣って健全な財政運営、また予算執行にあたっていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） まあ、さきほどの質疑でそのように言われました。結局ですね、なぜこのようなことを聞くかということなんですが、要は今までですね、8年間かけてこういうふうなある程度評価ができるものが出てきた。それで、今後どのようにこの結果をもとに市長としての思いを実現させていかれるかということが大切なことだと。要するに決算審査は決算審査を踏まえて、次をどうするかということだろうと思っております。

市長言われましたように、来年度予算に反映させるというふうなことを戎屋委員の御質問に答えられました。それは当然だろうと思うわけ。結局どういうふうな形で反映させるのか、どういうふうな指針を持って反映させられるのかということをお聞きをしたいわけで、ですから、この8年間の職員の皆さんは大変だっただろうという

ふうに私は思います。そういうふうな私は皆さんの努力には大変大きな評価ですか。与えていただろうと思います。大変だったろうと思うわけです。

だが、その中でいろいろな形で新しいまちづくりの合併後のまちづくりの指針、基本構想なりが今まで展開をされてきて、まだ進行形です。だから、その中でさあこれからっていう恐らくこの決算も平成28年度からがそういう時期なんだと、いうふうな判断をしています。そのことを踏まえて市長のお考えをお聞きをしたい。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 安富委員の御質問にお答えしたいと思います。先ほど申しましたとおり、この決算を充分皆さん方に審議していただきまして、その御意見等を反映して次期予算を考えていきたいというふうに思っております。

所信表明でも申しましたとおり、掲げる目標といたしまして、市民が主役のまちづくり、住みたくなる、住み続けたいまちの創造、教育環境の充実、地域経済の活性化、雇用の拡大、市行財政改革の推進を掲げております。これの目標に沿った形の予算編成をこの決算を踏まえてやっていければというふうに思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） なかなかすれ違うみたいですが、基本的な部分でですね、私はこの27年度の8年間に及ぶ皆様方の努力の評価は、あまり明確ではないみたいですが、大変な努力をしてきたわけです。これを踏まえて来年の予算に反映されるのは当たり前のことだと思います。誰がされても、今大切なことは、この結果を踏まえて、おそらく私は、私が市長だったらというのは御無礼な話ですが、よし、これからっていう時なんです。ある程度、やろうと思えばできる。しかし、引き続いてこの健全財政も維持をしていかなければいけない。これは市長も所信表明の中で私の思いを実現させるためにはさらなる行財政改革も必要でありますよということも申されてますよね。だから、その辺の市長の考えっていうものがどうしても今伝わらないんですけども、もう3回になります。もう一度お聞きをして終わりたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 安富委員の御質問にお答えいたします。当然、決算の委員会でございますので、決算を皆様方に審議していただいて、御意見をいただきます。

その御意見も反映しながらですね、次期予算に組み込むということはさきほどから

申したとおりでございますし、また積極的な投資も今後していかなければいけないということも当然考えております。そういった件につきましても議員の皆様から御意見をいただければと思っておりますし、そういった形で今おっしゃいました、これからというところに来ている、ということでございます。確かに観光事業特別会計におきましては黒字が出てまいりましたし、そういった財源をどう活用していくのかってというのがこれからの課題だというふうに思っておりますのでそういった積極的な投資も含めて、しっかりと来年度予算で考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかに質疑ございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それでは総括質疑ということで、さきほどから皆さんも西岡市長に質問をされております。私も何点か質問をしてみたいと思います。

特に私は地方公共団体、美祢市の財政運営について、非常にいつも関心をもって注意しております。

それでですね、平成27年度の美祢市の決算統計の指標として財政運営が健全であるかどうか。これについては、教育経済委員会でもうすでに質問をして副市長のほうから答弁を受けております。それでですね、今回、実質公債費比率というものが合併当初から、比べればかなりよくなりまして今現在決算では14.7%前年比で0.4%改善されておりました、また将来負担比率、これについても借入金、将来の支出する見込まれる現時点での残高ということでありまして、こういった将来負担比率というものが58%、前年比が78%ですから20%近く改善されてきております。

これもどちらかといえば今までの合併から前村田市長の採配によって実際、議会側も両輪のごとく協力して、私はここまで健全化なったとは思っております。特にまたあの……資金不足比率に関しては特別会計でこれ非常に厳しかったわけでありましてけれども、これもしっかりとゼロになって非常にいい形となっております。

それで、今回とは言っても、今これ実質公債費比率、これ山口県13市、まあ市町村もありますけれど13の市で見れば13市中何番目だと思います。まだ13番目なんですよ。非常に厳しい状況でかなり改善してきたけれども、まだ厳しい状況であります。防府市にあたっては実質公債費比率は0.8という非常に財政が健全ですね。借入金の返済額、公債費なんかも本当に返していく額が少ない。非常に美祢市が確か

20億かなんとか毎年返していたというように記憶にあるんですけど、そういう面でこういったところがないというのは借金がないということはとてもいいんですが、それですね、実質公債費比率が美祢市が一番悪くて次が長門市という形で、実際下松市が非常にいいってことはお話ししました。

それで今後、私たちが見ていかなきゃならないこと、1週間前くらいにNHKスペシャルで「縮小、日本の衝撃」ということで私あれをみてショックを受けたんですけども、人口に見合った規模に生活ゾーンを縮小するしかない。もう縮小している。人口は減少している。まだ皆さん頭の中で、脳の中でまだたくさんおるんじゃないかという認識はまだたくさん消え去らないと思うんですね、あるというね。

それですね、だからこそ、人口に見合った規模の生活ゾーンにさまざまな面で縮小するしかない。これも元気のあるうちに反発がでる。しかし、その時にしないと手遅れになってしまうという、こういったコメントがありました。

そういうことで応分の行政サービスは私はちゃんと施してやっていくことが必要とっておりますけれども、将来負担比率、実際公債費比率、美祢は14.7%まで改善してきたとはいってもまだまだ13市からみれば厳しい状況であります。今後実質公債費比率、将来負担比率、これをですね。市長として、今後の重い決意としてどこまで改善していくか。今13市中13位ですから、これをどこまでやっていくという決意のほどをお伺いしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 岡山委員の御質問にお答えしたいと思います。当然のことながら、財政コントロールをして、公債費比率等を下げていくっていうことはやっていかなければいけないというふうに思っております。

しかしながら、さきほどの戎屋委員、安富委員の質問にもありましたように、これからさきほど岡山委員も言われましたけれども、公共施設のあり方、またどういうふうにまちづくりをしていくかというところで大きなお金がかかってくるというふうに思っております。

そういった面も含めましてですね、財政コントロールをしっかりと、企業でいう内部留保にあたる基金を積み上げるだけでなくでですね、しっかりとまちづくりをして地域の経済の活性化、また雇用を生んでいく、そういったことにもですね、取り組んでいかなければいけないということがございますので、一概に比率をどんどんどんどん

ん下げるだけがいいのか、ということではないというふうに思っておりますし、その目標値をどこまでっていうところは現状、はっきりとした指標を示すことはできませんけれども、いずれにしろ財政コントロールをしっかりとしながら、まちづくりをしていきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 具体的にですね、実質公債費比率をどこまで改善していくか。今まだ具体的にないということをおっしゃいました。それでですね、今後、これから市民のニーズに応じたさまざまな行政サービスをしていかなきゃいけないと言われましたし、今後そういったかたちでさまざまな面で執行部のほうで政策提言、いろいろ出していく前にですね、早めにいろいろ議会側のほうにその辺の計画といいますか、構想といいますかそういったものを早くいろいろ出て、結果が出た上で出されても、議会側からも何も意見がでんよであれば、行政運営というのは立ちゆかなくなってくる。私はこのように思っております。しっかりとお互い合意形成ができる場をしっかりと市長自らつくっていただきたいとこのように要望しておきたいと思っております。

それでですね、もう1点。次の質問として、これも先の教育経済委員会で篠田副市長が答えたんですけれども、観光事業特別会計、これについて今後企業会計化へ移行していくことが重要であるということでしたら、今後財務書類の作成という意味におきましては、固定資産台帳の整理をしっかりと進めていただきたい。そして、公共施設等の耐用年数とか取得価格の記載、将来の施設の更新等こうした必要額など調査が結構たくさん必要なわけですね。公共施設にあつて。

それでですね、そういったものを早く作るには時間がかかるんですけれども、この辺について早く特別会計をより見える化させるためにはですね、観光事業の企業会計化へと移行されることが非常に重要になっておりますので、これについては篠田副市長も極力早くされると言っておりましたけれども、この点について西岡市長はどのような御見解でしょうか……。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。特別会計のことはちょっと。本日一般会計のみになりますので、一般会計に絞って。

○委員（岡山 隆君） わかりました。できるのかなって思ってたけれども、わかりました。そういったことであります。わかりました。

それとですね、いろいろ、民生費のほうで今回いろいろ主要施策成果報告書において、いろいろ予防接種などさまざまな面で支援策をされておりました。これはいつもどおりで、こういったことは行われてきているわけですがけれども、特に私がお尋ねしたいことは医療費が、今回国保にあたっては、たしか全国でも山口県は高い位置にある、そして美祢市も高い位置にあった。ちょっとそういう認識があります。そういう面において美祢市民の健康寿命を延ばす、この健康増進課の取り組みとして、しっかりと私は、さまざまな、これはただ健康増進課で健康寿命、行動寿命を延ばしていく。非常にむずかしいところあると思っております。それで地域の力も利用していかなくちゃならないんですけれども、たしか、美祢市においては健康増進課、地域福祉、市民課のさまざまな連携のもと、よりなんといいですか、健康寿命を延ばしていくために連携しながら、例えばジェネリックの薬であればこの薬の促進をしたり、そしてこのがん検診の推進。これもやっておられると思っておりますけれども、そういったさまざまなことを考慮しながら今この美祢市にあって進んでいない。

特に長野県において皆さん御存じの1960年頃は脳卒中で死亡率が全国1位と。これが改善されて今では、現在では健康寿命トップというぐらいにはなったわけですね。やから取り組みというのはすぐにやってすぐに出るものではないんですけれども、この辺の対応っちゃうのは、よう行政はしっかり勉強しながら地域とどう取り組んでやるかとその辺をもう少しいろいろ連携とって進めて西岡市長の指揮のもと、健康寿命がしっかりと延びていく。

こういったものをしっかりと組織化していただきたいと思うんですけれども、西岡市長のこの辺、市民の健康寿命を延ばす、行動寿命を延ばす。この辺の施策として行政とこの地域への取り組み、この辺についてお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 岡山委員の御質問にお答えいたします。健康寿命を延ばしていくということは非常に大事なことだろうというふうに思っております。当然、医療費等、介護費、介護保険料の関係も、そこに関わっていきますので、地道に、啓発しながら。それこそ地域地域です。合った取り組みをしっかりと行っていきたいと思っております。

また、この決算でもう少しこういうふうなことやったらいいんじゃないかという御

指摘ございましたら、言っていただけたらその取り組みもしっかり考慮しながら取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） まあ、今行政もこういったところしっかりと健康寿命を延ばしていく、こういった担当部署というのは人数というのも非常に削減されてきておまして、難しいところも多々あるのではないかと思っております。だからといって座して瞑想にふけていても、なんらこの健康寿命は延びないと思っておりますし、三大疾病、美祢市におけるいろんな病気のところの原因もですね、しっかりと取り除いていくことも私は重要であると思っております。

しっかりとですね、この辺については行政のここに命をかけるというこういった旗振り役というものがいないとまた、人材がいなくなかなかその辺は進まないと思っております。だからたくさんの方がいなくてもまずその旗振り役、ここに命をかけるというふうに行政のチェックマンをですね、しっかりとこの辺についてやっていくという人を1人、2人私は見つけてそこに充てていくということが重要であると思っておりますし、その辺についての西岡市長の御見解をお願いします。

○委員長（猶野智和君） 西岡市長。

○市長（西岡 晃君） 岡山委員の御質問にお答えしたいと思っておりますが、現在担当している職員もしっかりとやっておるというふうに認識しております。これからはしっかりとこの健康寿命、また若いうちからの健康も含めて、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） しっかりとこの辺の市長——思いをですね、ちょっと今の御答弁であれば思いがまだまだかなという思いがありますけれども、いずれにしてもそのように言われましたのでしっかりと旗振り役をきちっとつけていただきまして、また私どもいろんなところに視察等行かましてこの辺の先進地の情報等これを今後いろいろ御提言しながら市民の皆さんの健康寿命を増進していく。こういったところを我々議会側も頑張ってまいりたいと思っておりますので、よろしく、これからは市長の対応もよろしくをお願いします。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め質疑を終わります。

それでは、本案に対する御意見はございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君） 一般会計について。いくつかの一般会計、決算委員会について、いくつかの要望を交えて意見を述べさせていただきます。

マイナンバー制度は、多くの分野で個人情報をつなぎに利用できるという重大な問題を持つものだと考えます。個人に関する情報、プライバシーは守る権利——充分に守れるようにしていただきたいと意見を述べます。また、公民館の件ですが、公民館を使用する際に、申し込みは3日前でないと使えない。また、使用料も前払いで使わなかった時間について返金はしないということです。これは条例で決まっていたことでしたが、この限りでない公民館も市内ではありました。公民館は生涯学習の場であり、また市民のための施設なので利用しやすいように条例の改善を求めます。

また、労働費ですが、就職祝金。これの給付について、説明をきのういただきましたが、会社からまとめて何人という報告だということでしたが、私は働く人は誰もが正規社員であるということをいつも思っておりますので、この事業の給付の規定が正社員であることと規定されてますので、そこはしっかりと確認していただきたいと思えます。

また、教育費の件ですが、きのうお尋ねしました。市内の中学校がスポーツ等全国大会や中国大会に出場の時、交通費とかの移動の補助や支援が必要ではないかと思えますので要望いたします。

次も教育費ですが、小学校、中学校が統廃合されておりますが、これ以上の統廃合と給食調理場の統合はされないように要望いたします。学校の統廃合は過疎に拍車をかけるだけです。人口増と人口定住に施策に力をいれていただきたいことを述べます。

一般会計の決算についてですが、以下の理由で意見を述べます。2つの病院の存続維持で地域医療と雇用が守られていることには、ほんとにありがたく思います。また、市民の要望だった児童クラブも開設されたことなど前進した部分には評価できます。

しかし、安倍政権の消費税増税、また年金削減政策、さらに生産者米価の暴落等々、市民の暮らしはほんとに厳しくなっています。このような状況下におきまして、台湾

など国際交流事業やジオパーク構想は市民の暮らしを守る切り札になったかどうか、費用に対して市民の暮らしがよくなったのかと疑問に思います。ナンバー制度についても国民の税、社会保障情報を一元化すると管理されて導入されましたが、プライバシー権の侵害の危険なども懸念される——管理すると導入されました。このマイナンバー制度が市民の暮らしを守るとは考えにくいので、以上の理由で一般会計決算に反対をいたします。

○委員長（猶野智和君） 反対ということによろしいですね。三好委員。

○委員（三好睦子君） 反対意見です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。それでは、これより議案第85号を採決いたします。本案について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長（猶野智和君） 挙手多数であります。よって、議案第85号は原案のとおり認定されました。

以上をもちまして、本会議で、本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。

その他、委員の皆様から何かございましたら、発言をお願いいたします。ないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。御審査・御協力、誠にありがとうございました。お疲れでございました。

午前10時18分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成28年9月30日

予算決算委員長

梅野 智利